

殿村遺跡の発掘

第4次発掘調査・平成24年12月・松本市教育委員会

1 殿村遺跡とは？

平成20年に学校建設にともなって発掘が行われ、室町時代（15世紀）から戦国時代（16世紀）にわたる、大規模な造成の跡が見つかりました。

2m以上にもおよぶ造成の跡からは、石積み（石垣）、建物の礎石や堀の基礎、高級な陶磁器や茶道具、下駄や漆器などの木製品が多数見つかりました。

これらの成果は、庶民が暮らした村ではなく、多数の労働力を結集できた権力者や、特定の階層の人物が活動をした、重要な施設があったことを示しています。

いまのところ、遺構や遺物の様子からみて、宗教的な施設、おそらくお寺の跡である可能性が高いと考えられますが、まだはっきりとは解明できていません。

一方、「殿村」の地には、中世に会田盆地を治めた会田氏の館があったと伝えられており、遺跡と会田氏の関係も注目されます。

2 遺跡の現状保存とは？現在行っている発掘の目的は？

平成20年の発掘は、学校の建設でやむを得ず遺跡が破壊される部分を事前に発掘し、写真や図面による記録を残そうとするものでした。（「記録保存」といいます。）

相次ぐ重要な発見により、平成21年に四賀地区の皆さんからの要望を受け、学校建設予定地が変更されました。これにより、見つかった遺構は将来にわたって開発などの破壊を受けることなく、そのまま保存されることになりました。（「現状保存」といいます。）

3 今回の発掘の目的は？

最初の発掘では、遺跡がいつ、誰によって、何のために造成が行われたのか？全体構造はどうなっていたのか？などの点は十分明らかにできませんでした。

そこで私たちは、これらの点を明らかにして、将来的な史跡整備に生かすため、平成22年から28年まで、遺跡の広い範囲で発掘を実施することになりました。

ところで、私たちが現在行っている発掘も、遺跡の破壊行為のひとつに他なりません。したがって、私たちは、現状保存された遺跡をできるだけ壊さないよう、明確な目的のもと、慎重に発掘を進めなくてはなりません。

今回は、以下の目的のもとに、発掘地点をしぼって発掘をしています。

- (1) 最初の発掘で見つかった、石積みを伴う造成跡の東辺部の様子を探る（4A1トレンチ）
- (2) 遺跡の北西側（プール付近）における造成跡の広がりを探る（4A2トレンチ）
- (3) 旧会田中校舎付近における中世の遺構・遺物の有無を探る（4C1トレンチ）

4 今回の発掘のおもな成果は？

(1) 造成面の東を区切る堀あるいは池を発見した

最初の発掘で見つかった、石積みをともなう最も古い段階（15世紀）の造成は、東側の区切りとして堀を設けていることが分かりました。（4A1トレンチ）

堀は石積みで護岸され、北側で閉じていることから、末端部分と推定されます。

堀は、造成面と会田中学校から続く尾根との境を分けていたと考えられます。

なお、遺構は堀ではなく、池のような施設であった可能性も残されています。

(2) 造成面北西側の状況を明らかにした

最初の調査地の北西側、4A2トレンチでは盛土が見られず、中世の造成跡はここまでは広がっていなかったことが分かりました。

(3) 旧会田中学校校舎付近の様子が明らかになった

4C1トレンチからも中世の造成跡や遺物は見つかりませんでした。

このことから、平成22年に、ゲートボール場A棟のある段で確認された造成跡は、一段低い南側の校舎付近までは続いていなかったことが分かりました。

(4) 中世以前の遺構・遺物を明らかにした

今回の発掘では、中世以前の生活跡も見つかりました。ちなみに、4A2トレンチからは、縄文時代前期（約6000年前）穴が、また4C1トレンチからは、奈良時代の焼物（須恵器）が多数見つかっています。

5 その他に行っている調査は？

私たちは、殿村遺跡をとりまく虚空蔵山麓の歴史的景観を明らかにするため、遺跡の発掘も含めた総合的な調査を行っています。

今年度は、殿村遺跡の発掘のほか、地元の皆さんが所蔵されている古文書や絵図の調査、虚空蔵山城跡の発掘と測量など、多岐にわたる調査を実施しています。

6 第4次発掘調査データ

(1) 調査期間・調査面積

10月1日～12月14日（予定） 140㎡

(2) 4A1トレンチ

発見遺構 造成跡、石積みの堀（or池）、区画溝、柱穴、石列（いずれも中世）

出土遺物 土器（鍋）、陶器（古瀬戸）、硯、木製品、建物の柱（いずれも中世）

(3) 4A2トレンチ

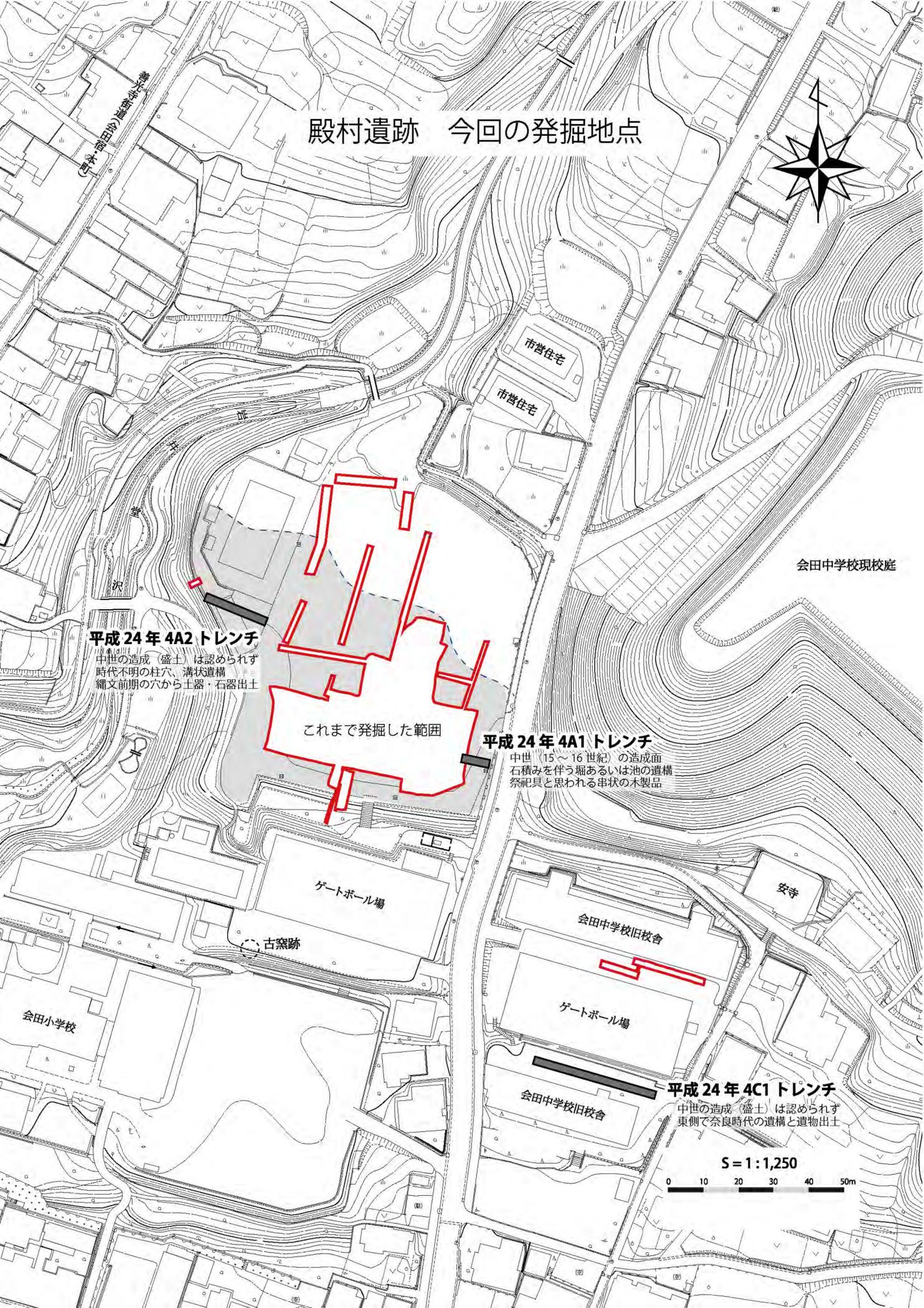
発見遺構 柱穴（中世）、溝（時代不明）、穴（縄文前期）

出土遺物 縄文土器・石器（矢じり）、奈良～平安時代の土器（土師器・須恵器）

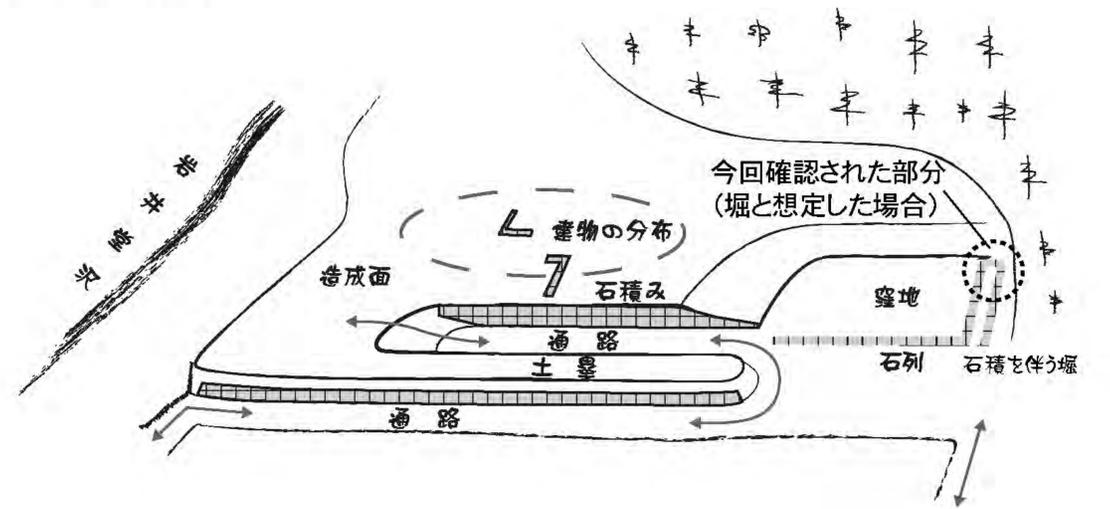
(4) 4C1トレンチ

発見遺構 穴（奈良時代）

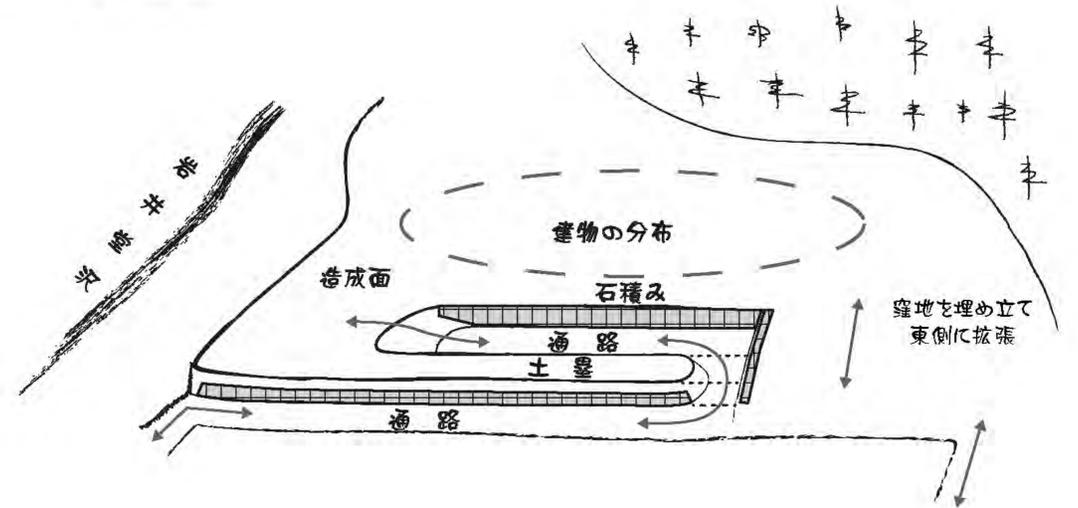
出土遺物 奈良時代の土器（土師器・須恵器）



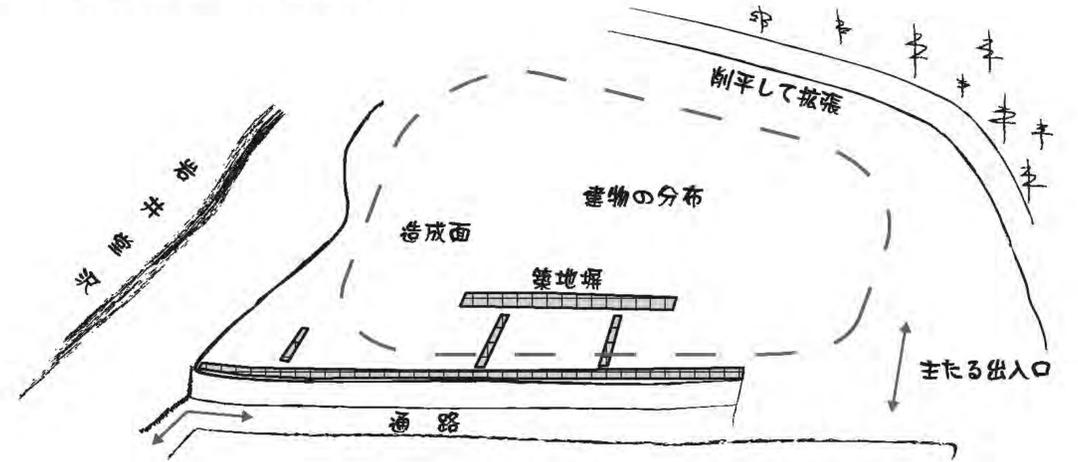
1 15世紀（4面段階）



2 15世紀（3面段階）



3 16世紀（2面段階～1面段階）



これまでの発掘成果から推定される遺跡の移り変わり

殿村遺跡調査全体図 (15世紀=3・4面の段階)

